土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　　三次町4158-1地区急傾斜地崩壊事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor-5	調査位置	広島県三次市三次町寺戸			北　緯	34° 48′ 55.0822″
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	令和04年12月13日～令和04年12月16日	東　経	132° 51′ 15.7938″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 168.53 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D-1B		
総削孔長	8.00 m								エンジン	ヤンマーNFD-13	ポンプ	東邦地下工機BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験 N値	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
	168.23	0.30		粘土質砂		暗茶褐	中ぐらい		砂は細～中粒砂を主体とする。有機物を混入する。φ=5～20mmの角礫点在する。				1.15											
1	167.03	1.50		礫混じり砂質土		淡茶褐灰	中ぐらい		砂は中～粗粒砂を主体とする。φ=2～20mmの角礫を混入する。深度0.3～0.5m間少量の有機物を混入する。深度0.7～1.0m間砂礫状を示す。	12/15 1.83		13.0	1.45	4	4	5	13						
													2.15				300						
2	165.63	2.90		礫混じり粘土質砂		淡茶褐灰	中ぐらい		砂は細～粗粒砂から構成されている。φ=5～40mmの角礫，風化礫を混入する。深度1.5m付近有機物を挟む。			19.0	2.45	6	6	7	19						
													3.15				300						
3	164.93	3.60		礫混じり砂質粘土		茶褐灰		締まった	混入砂は細～中粒砂を主体とする。φ=5～20mmの角礫を混入する。深度3.0～3.45m間含水比は高く，ペースト状を示す。			10.0	3.45	4	3	3	10						
	164.68	3.85		礫混じり粘土質砂									4.15				300						
4						淡茶灰			砂は細～中粒砂を主体とする。φ=5～20mmの角礫を混入する。			15.0		3	5	7	15						
				安山岩・砂質土					安山岩風化土。コアは粘土質砂～粘土混じり砂礫状を示す。岩盤組織はやや不明瞭。岩級区分DLクラス。				4.45				300						
5	163.28	5.25											5.15	6	44		50	170					12/14
						淡緑灰						88.2	5.32		70		170						
6				安山岩・軟岩					安山岩の風化岩。コアは砂礫状～短柱状を示す。コア肌は粗面状，ハンマ軽打にて濁音を発し，一部は崩れる。亀裂は30°～40°が主体，亀裂面は褐色に変色している。岩級区分CL(DH～CL)クラス。			50.0	6.00	50			50	0					
													6.00	0			0						
7						淡緑灰～淡褐灰						50.0	7.00	50			50	0					
													7.00	0			0						
8	160.53	8.00										50.0	8.00	50			50	0					12/15
													8.00	0			0						